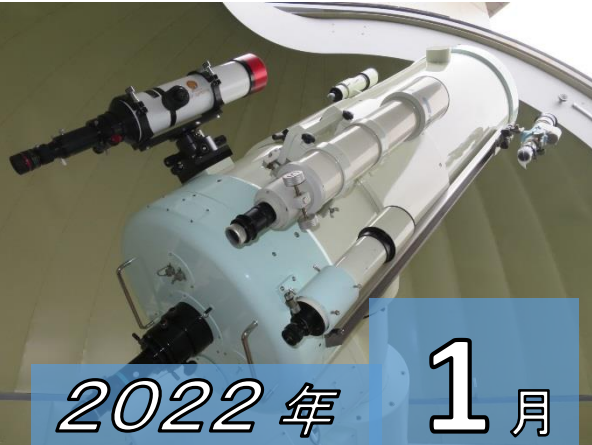


# 星の広場



〒488-0883 尾張旭市城山町長池下4517番地1  
TEL 0561-52-1850 FAX 0561-52-1851



## 1月の観望天体

# さんこうせいうん 散光星雲M42！ だいせいうん オリオン大星雲のトラペジウム

あか 明<sup>あか</sup>い星<sup>ほし</sup>が華<sup>はな</sup>やかに輝<sup>かがや</sup>く冬<sup>ふゆ</sup>の星<sup>せいざ</sup>座<sup>ざ</sup>。その中<sup>なか</sup>でもひときわ目<sup>め</sup>立<sup>だ</sup>つのがオリオン座<sup>オリオン座</sup>です。赤<sup>あか</sup>いベテルギウス<sup>ベテルギウス</sup>と青<sup>あお</sup>白<sup>しろ</sup>いリゲルの2つ<sup>2つ</sup>の1等星<sup>1等星</sup>と2つ<sup>2つ</sup>の2等星<sup>2等星</sup>でつくられる四角形<sup>四角形</sup>の真<sup>ま</sup>ん中<sup>中</sup>に、ななめに並<sup>なら</sup>ぶ3つ<sup>3つ</sup>の2等星<sup>2等星</sup>「三<sup>みつ</sup>つ星<sup>星</sup>」が目<sup>め</sup>印<sup>いん</sup>です。その三<sup>みつ</sup>つ星<sup>星</sup>の下<sup>した</sup>（南<sup>みなみ</sup>）に小<sup>ちい</sup>さな三<sup>みつ</sup>つ星<sup>星</sup>があ<sup>あ</sup>ります。この「小<sup>ちい</sup>三<sup>みつ</sup>つ星<sup>星</sup>」の真<sup>ま</sup>ん中<sup>中</sup>にあるのが、有名<sup>ゆうめい</sup>な散光星雲<sup>さんこうせいうん</sup>、オリオン大星雲<sup>だいせいうん</sup>（M42）です。望遠鏡<sup>ぼうえんきょう</sup>でのぞくと、鳥<sup>とり</sup>がはね<sup>はね</sup>を広<sup>ひろ</sup>げているようにガス<sup>ガス</sup>が広<sup>ひろ</sup>がっているのがわ<sup>わ</sup>かります。オリオン大星雲<sup>だいせいうん</sup>は星<sup>ほし</sup>がう<sup>う</sup>ま<sup>ま</sup>れる場<sup>じょう</sup>所<sup>しょ</sup>としても注<sup>ちゅう</sup>目<sup>もく</sup>されてい<sup>い</sup>ます。中心部<sup>ちゅうしんぶ</sup>の明<sup>あか</sup>いところ<sup>ところ</sup>を高倍率<sup>こうばいりつ</sup>で見<sup>み</sup>ると、「トラペジウム」と呼<sup>よ</sup>ばれる台形<sup>たいけい</sup>にな<sup>な</sup>ら<sup>ら</sup>んだ4つ<sup>4つ</sup>の星<sup>ほし</sup>が見<sup>み</sup>られ<sup>れ</sup>ます。これら<sup>これら</sup>の星<sup>ほし</sup>は数<sup>すう</sup>百<sup>ひゃく</sup>万<sup>まん</sup>年<sup>ねん</sup>ぐら<sup>ぐら</sup>い前<sup>まえ</sup>に生<sup>う</sup>ま<sup>ま</sup>れた赤<sup>あか</sup>ちゃん星<sup>ほし</sup>です。強<sup>きやう</sup>力<sup>りき</sup>な紫<sup>し</sup>外線<sup>がいせん</sup>を出<sup>だ</sup>してまわりのガス<sup>ガス</sup>を輝<sup>かがや</sup>かせてい<sup>い</sup>ます。



## 1月の夜間観望会 日曜日 18:00~19:00

※夜間観望会は「スカイワードあさひ星の会」が運営します。  
※小中学生は保護者と一緒に来てください。  
※天候や機器の整備等で中止する場合があります。  
スカイワードあさひに16時以降にお問い合わせください。

開催日	主な観望天体
2日	スカイワードあさひが休館のため休みです
9日	月齢6の月、M42(オリオン大星雲)、天王星 M42はオリオン座の三つ星の南にある散光星雲です。
16日	月齢13の月、トラペジウム、M35 など トラペジウムはM42オリオン大星雲の中央に輝く四重星、台形に星が並んでいます。
23日	M1(かに星雲)、カストル、M42 など M1は1054年におうし座に出現した超新星の残骸です。

※ 30日は第5日曜日のため開催しません。

## 1月の太陽観望会



黒点やプロミネンスなどの太陽活動をH $\alpha$ フィルター太陽観測専用望遠鏡で観察しましょう。

火・土・日曜日、祝日  
1日~3日は休みです

10:00~12:00  
13:00~15:00



星の会会員撮影

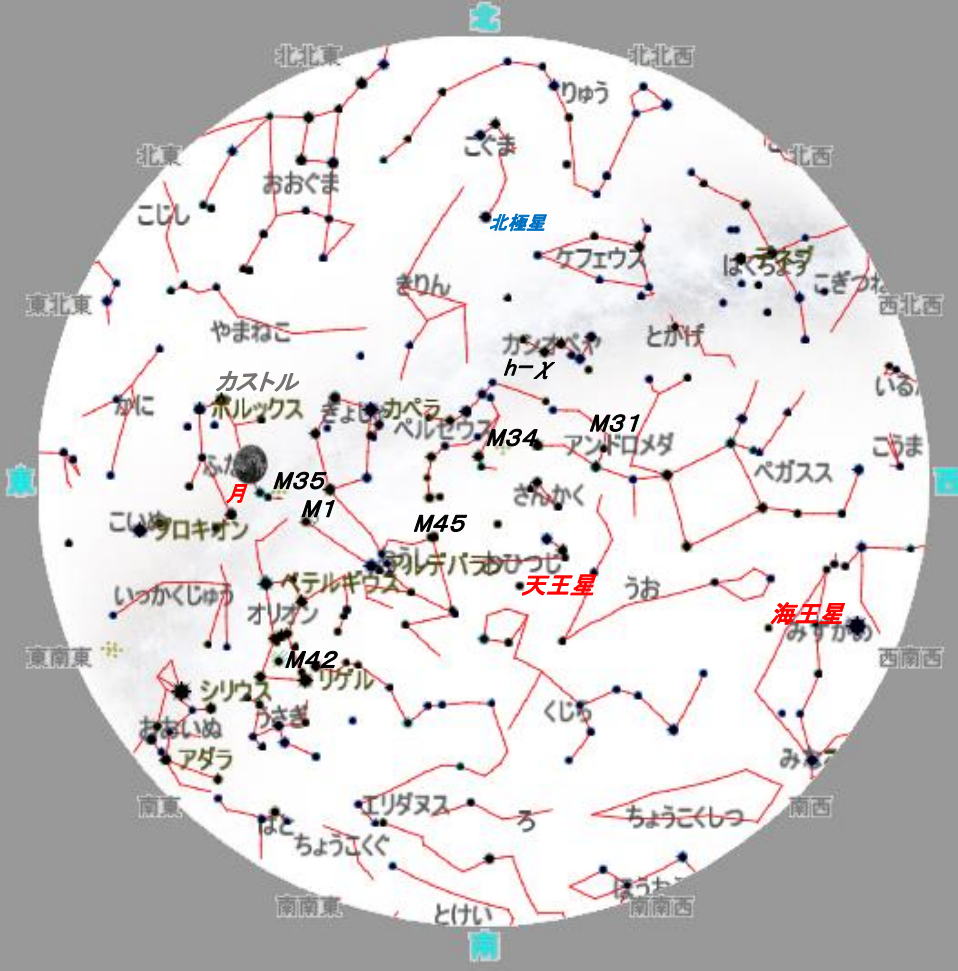
# 1月の星空

2022年1月16日 午後7時

# 1月の惑星

- 水星 夕方の西の空
- 金星 明け方の東の空
- 火星 明け方の東の空
- 木星 夕方の西の空
- 土星 夕方の西の空
- 天王星 宵の南の空
- 海王星 宵の西の空

水星は夕方の西空で見られますが、7日に東方最大離角となり、その後だいに高度を下げていきます。  
 金星は9日に内合を迎え、1月末ごろには明け方の東の空で「明けの明星」として観望できるようになります。  
 火星は今年の12月に地球に接近します。今はまだ遠く、明るさや大きさは控えめで、明け方に姿を見せています。  
 木星と土星は夕方西空低く並んでいますが、すぐに地平に沈んでしまいます。  
 天王星は宵の南の空で観望好機が続いています。



日	曜	月齢	1月の主な天文現象
1	土	28.2	(元日)
2	日	29.2	
3	月	0.7	新月
4	火	1.7	地球が近日点通過 しぶんぎ座流星群が極大
5	水	2.7	(小寒) 月が土星に接近
6	木	3.7	月が木星に接近
7	金	4.7	水星が東方最大離角
8	土	5.7	
9	日	6.7	金星が内合
10	月	7.7	(成人の日) 上弦の月
11	火	8.7	しぶんぎ座流星群 4日 午前4時ごろ
12	水	9.7	
13	木	10.7	
14	金	11.7	
15	土	12.7	



日	曜	月齢	1月の主な天文現象
16	日	13.7	
17	月	14.7	
18	火	15.7	満月
19	水	16.7	
20	木	17.7	(大寒)
21	金	18.7	
22	土	19.7	
23	日	20.7	水星が内合
24	月	21.7	
25	火	22.7	下弦の月
26	水	23.7	天王星が東矩
27	木	24.7	
28	金	25.7	
29	土	26.7	
30	日	27.7	
31	月	28.7	

**4日 しぶんぎ座流星群が極大**  
 三大流星群の一つで、毎年多くの流星が流れるため注目されます。極大は4日の午前6時ごろ。月はなく、天気さえよければ絶好の条件で観測できそうです。しぶんぎ座は現在はありません。放射点はりゅう座です。

